

# 国有林野所在市町村の魅力紹介



## 青森県西津軽郡深浦町

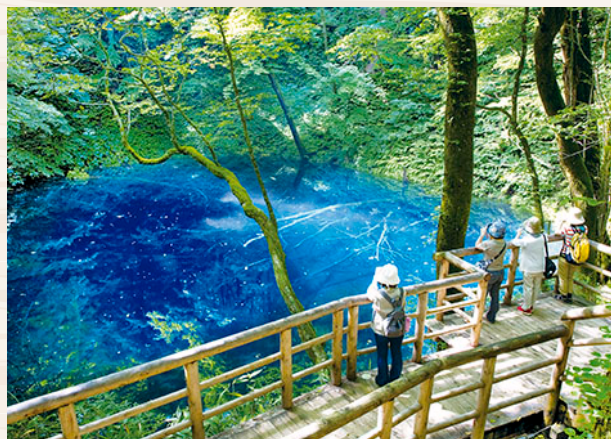
津軽森林管理署

深浦町は、世界自然遺産白神山地の麓にある青森県の西南部に位置する日本海に面した町です。かつては北前船の風待ち湊として栄え、円覚寺をはじめとした寺社仏閣や信仰を集める巨樹古木など、現在も多くの文化財が存在します。特に「北金ヶ沢のイチョウ」は、国天然記念物に指定されている樹齢1,000年以上の老木で幹まわり約22mの日本一の巨樹で、垂れ下がるたくさんの気根から「垂乳根の公孫樹」とも呼ばれています。



日本一の大イチョウ（黄葉時期）

深浦町の有名な観光スポット十二湖は、四季折々の景色を楽しむことができます。特に青池は、十二湖を代表する神秘的な池であり、青インクを流し込んだように真っ青な池水を湛えています。



青池

陽光と見る角度によって千変万化する幻想的な世界が広がります。十二湖は森林セラピー基地に認定されており、癒しを体験することができます。

津軽の殿さまが千畳の畳を敷いて大宴会を開いたとされる景勝地・千畳敷海岸では多くの奇岩、怪岩が点在しており、長い年月をかけて生み出された大自然の造形美を楽しむことができます。

また、約80kmにわたる海岸線は、「夕陽海岸」とも呼ばれ、日本海に沈む真っ赤で大きな夕陽を眺めることができます。



黄金崎不老ふ死温泉

深浦町は多くの食材にも恵まれており、青森のマグロといえば「大間のマグロ」というイメージが強いのですが、実は深浦町はマグロの水揚げ量が青森県ナンバーワン！マグロの街ふかうらで生まれたマグロ尽くしの大人気メニュー新・ご当地グルメ「深浦マグロステーキ丼」を堪能することができます。



深浦マグロステーキ丼

問い合わせ先：深浦町観光協会 Tel.0173-82-0875